

箱 根 山

火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

概況

・噴気など表面現象の状況

環境省インターネット研究所の箱根・大涌谷カメラでは、大涌谷の噴気等に特段の異常は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況および地殻変動の状況（図 1、図 2）

21 日 20 時 55 分、駒ヶ岳の南西約 2km 付近の浅い所を震源とするマグニチュード¹⁾2.3 の地震が発生し、箱根町湯本で震度 1 を観測しました。この地震の前後でごく小さな地震が一時的にやや増加しましたが、火山性微動は観測されませんでした。湯河原の体積歪計²⁾や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計³⁾による地殻変動観測ではこの地震に関連する特段の変化はありませんでした。

箱根山では、2001 年に駒ヶ岳周辺を震源とする活発な地震活動（最大地震 M2.8）があったほか、昨年 9 月下旬から 11 月にかけても、一時的な地震増加が繰り返されました。

- 1) マグニチュード（M）は地震の規模を示す。資料中のマグニチュードは一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- 2) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。
- 3) 地面の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。



図 1 箱根山 大涌谷の状況

（1 月 21 日、環境省インターネット研究所の箱根・大涌谷カメラによる）

この資料は気象庁のほか、環境省インターネット研究所、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

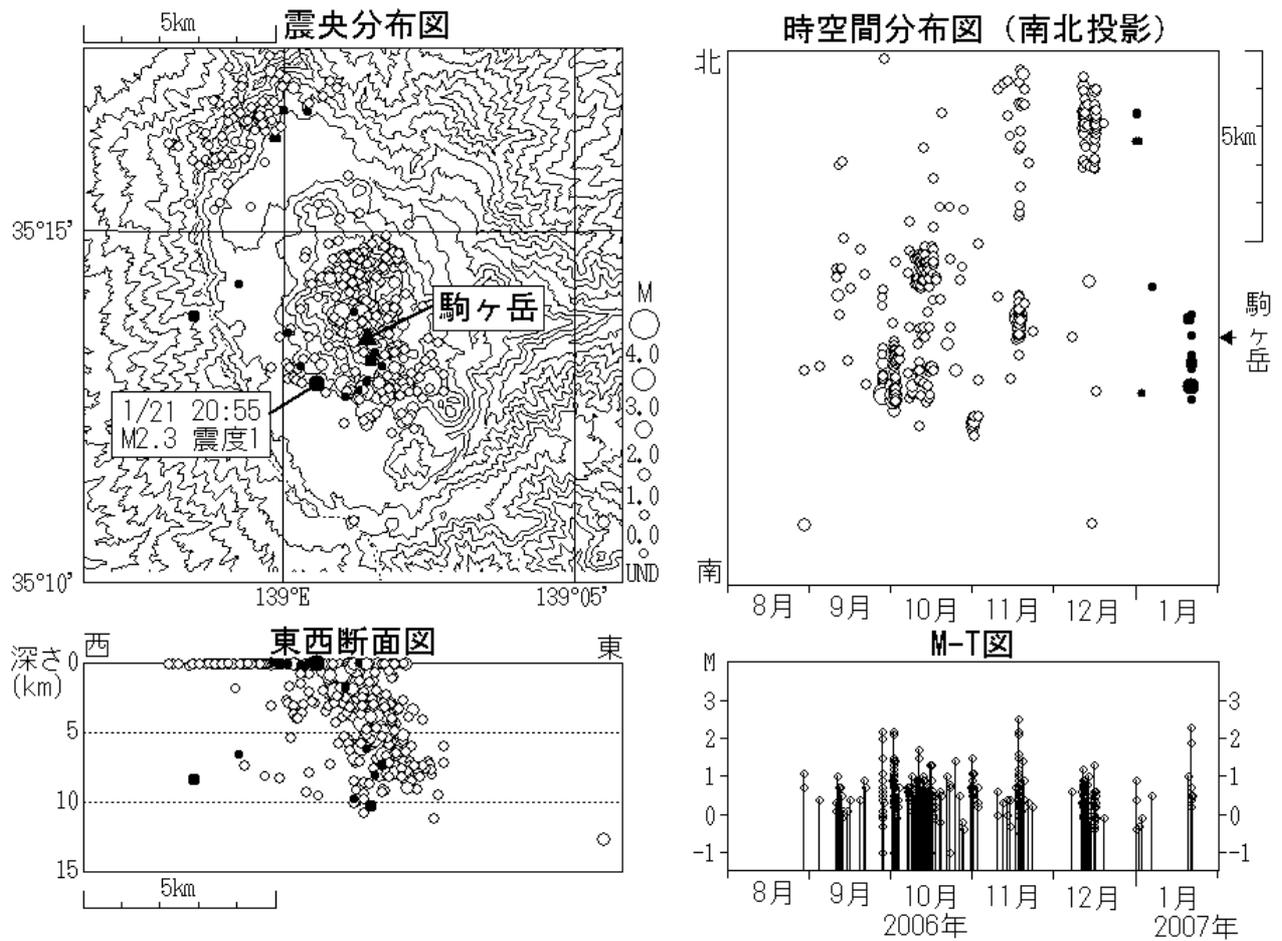


図2 箱根山 地震活動経過 (2006年8月1日~2007年1月31日)
 : 2006年8月1日~2006年12月31日 : 2007年1月1日~2007年1月31日

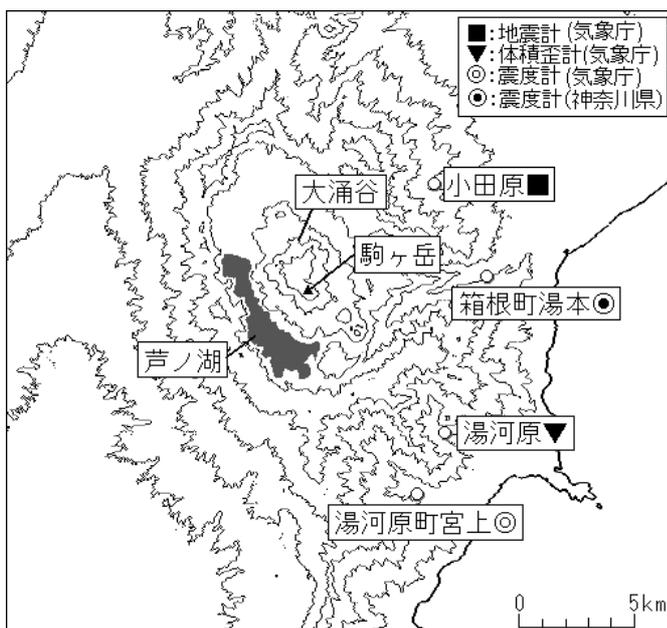


図3 箱根山 気象庁の観測点配置図
 (小さな白丸は観測点位置を示しています)
 なお、図中には神奈川県内の震度観測点も
 含めてあります